

平成 20 年度学校基本調査における「オーダーメイド集計」を行う際の仕様について

オーダーメイド集計を受託する際の仕様は、次のとおりです。オーダーメイド集計の利用を希望する方は、この仕様に基づき、「統計表作成仕様書」を作成の上、「統計の作成等の委託申出書」と併せて統計センターへ提出してください。

1 調査年次

平成 20 年度分の以下のデータが利用可能です。

(初等・中等教育機関編)

学校調査票（小学校）、学校調査票（中学校）

(高等教育機関編)

学校調査票（大学）学部学生内訳票、学校調査票（大学）大学院学生内訳票、学校調査票（短期大学）本科学生内訳票、学校調査票（大学・短期大学）外国人学生調査票、学校調査票（大学・短期大学）学生教職員等状況票、卒業後の状況調査票（大学・大学院・短期大学）

2 集計に使用するデータ

上記調査年次のデータのうち、「オーダーメイド集計項目」に記載するデータです。

3 集計対象項目

上記の各調査年次の使用するデータごとの集計項目から、表頭、表側、欄外に配置する項目を選定します。

4 地域区分

小学校・中学校については市町村、都道府県が利用可能です。また、大学・大学院・短期大学については都道府県が利用可能です。

5 結果の表章方法

実数で表章します。なお、数値が存在しない場合は「-」とします。

6 秘匿処理

統計成果物は文部科学省において必要に応じ、秘匿処理（秘匿する数値を「X」で表章）を行った上で提供します。（例えば、学校数や学生数が 1 又は 2 の場合、対象となるセルに秘匿処理を施す可能性があります。）

7 その他

集計はデータごとで、複数のデータを組み合わせる集計は出来ません。

集計対象項目の組合せの数（クロス数）は、最大で表頭 3 次元、表側 3 次元、欄外 3 次元となります。なお、以下の項目の組合せによる集計は行いません。

【小学校・中学校】

- ・市町村別と設置者別
- ・市町村別とへき地別

【大学・大学院・短期大学】

- ・都道府県別と設置者別